

立山黒部ジオパーク？

2026年5月15日（金）
富山市公民館連絡協議会
研修会
（一社）立山黒部ジオパーク協会
専門員 森内 裕之



本日のお話

- 1 ジオパーク？
- 2 立山黒部ジオパークって
どんなところ？何してる？
- 3 ジオパークって面白い！



イメージ





ジオパークのきっかけ、化石の盗掘

フランスのアルプドオートプロ
ヴァンス県のディーニュ市
地質保護区 アンモナイトの壁



* 1987年 化石盗掘団が逮捕された
裁判が広く報道されて、地質学的
サイトを保護する必要性を一般人
が理解するきっかけとなった

* 1991第1回国際シンポジウムの
開催(ディーニュ市)へつながっ
た



ギー・マルティニさんからのメッセージ



地球の記憶の権利に関する国際宣言

フランス・ディーニュ1991 要約
地質遺産の保護に関する第1回国際シンポジウム

- * 地球こそが全人類をつなぐ絆であり、すべての生き物をつなぐ絆である
- * 45億年の地球の歴史の中で生き物が生まれ進化し、現在の地球環境ができた
- * 地球の起源は私たちの起源であり、地球の未来は私たちの未来である
- * 地球遺産という本を読むことで、地球の過去を知ることができる
- * 地球の過去は人類の過去と同じくらい大事である
- * すべての国や国際団体が地質遺産を護るための法的・財政的手段を駆使することを要請する



ジオパーク活動の始まり

- * 大事な地質遺産(重要な地層、化石、岩石)を護りたい(1990年代終わり)
- * 地質遺産が盗掘や販売の対象となっており消滅してしまう
- * 遺産がある地域が将来的に豊かでない地質遺産は守り続けられない
- * ツーリズムによる地域活性化など

保全と活用

珪化木

太古の時代の樹木の一部が、美しい様子を残したまま石化した珍しい石



セコイアの珪化木



ジオパークの歴史

- 1991 地球の記憶の権利に関する国際宣言
- 1996 北京での万国地質学会における
Guy Martini(ギー・マルティニ)とNickolas
Zouros(ニコラス・ゾーロス)の出会い
北京原人博物館
- 1997~ ヨーロッパの地球科学者等4名で議論
- 2000 ヨーロッパジオパークネットワーク
- 2004 世界ジオパークネットワーク
- 2015 ユネスコの正式事業



なぜ地質遺産を護りたいのか

- 地質遺産には貴重な「地球の記憶」が残されている
- 地球の記憶は私たち人類が地球をうまく利用して生きていくのに役立つ
愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ
Ex.地震や津波
- 地質遺産は美しく、その意味を知ることが楽しい



護るには

世界遺産は自然、文化を対象とするものが多く地質遺産を護るのに世界遺産の仕組みには頼れない

↓
ジオパーク

地質遺産は美しく、その意味を知ることが楽しいと思える人ばかりではない

↓
生態系と人の文化は大地・風土の上に育まれたという関係に興味を持ってもらう

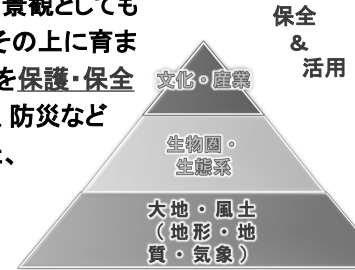


「ジオパーク」の概念

Geopark

地質・地球 公園

科学的に価値が高く、景観としても美しい地形・地質と、その上に育まれた自然や人の文化を保護・保全しながら、教育、観光、防災などに活用する活動、また、これらの活動がなされている地域。



「ジオパーク」の目的

地域の自然や文化などあらゆる分野と関係の深い地形や地質を使って、社会が直面する重要課題（地球資源の持続的な利用、気候変動や自然災害の影響軽減など）への意識を高めることで、持続可能な社会を実現すること



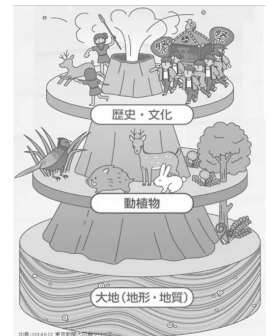
「ジオパーク」の効果

地球で暮らしていることを認識・再認識し、住み続けられる地域づくりができる

地球上のつながりや仕組みが分かる科学を自分たちのものとして活用できる
自然災害や現象への理解や備えができる

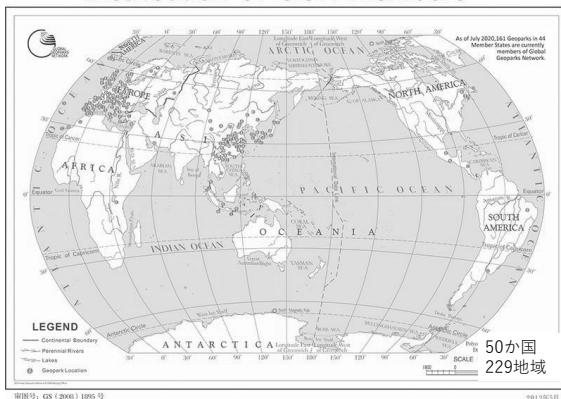
地球上の過去(繰り返し起こったこと、変化したこと)を知り、これからの町づくりや暮らしに役立てられる

地域にある地質遺産の価値を発見できる
故郷への愛着と誇りが生まれる
地域の一体感が強くなる
ジオツーリズムで新たな収入源を得られる



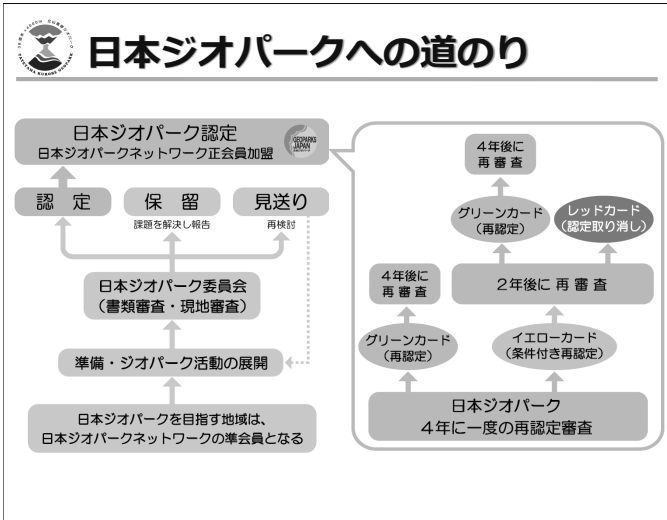
ユネスコ世界ジオパークの所在地

Distribution of GGN Members

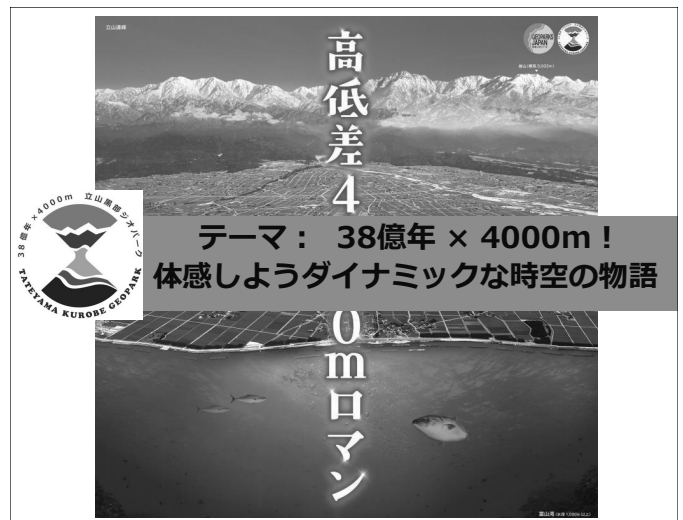
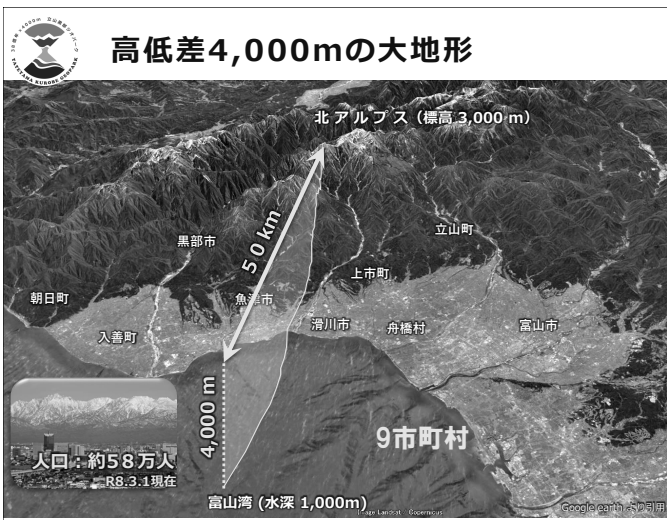


日本ジオパークの始まり

- 2004 日本地質学会
ジオパーク立ち上げを議論
- 2005 日本地質学会
ジオパーク設立推進委員会
発足
- 2007 日本地球惑星科学連合大会
シンポジウムが新聞記事に
- 2007 日本ジオパーク連絡協議会発足
- 2008 日本ジオパーク委員会発足
世界ジオパーク 3カ所
日本ジオパーク 7カ所
- 2009 日本ジオパークネットワーク設立



- ## 立山黒部ジオパークの歩み
- 2012 ジオパーク推進組織設立準備委員会
 - 2013 黒部・立山ジオパーク研究会
 - 2013 立山黒部ジオパーク推進協議会
 - 2014 立山黒部ジオパーク支援自治体会議
 - 2014 日本ジオパークに認定
 - 2015 (一社)立山黒部ジオパーク協会
 - 2019 日本ジオパーク条件付き再認定
 - 2021 " 再認定
 - 2025 " 再認定



①大陸衝突の時代

38億～2億5600万年前

日本の渚100選 **ヒスイ海岸**

②恐竜がかっほする時代

1億2000万年前

日本最大級 **恐竜足跡化石群**

③日本海の拡大

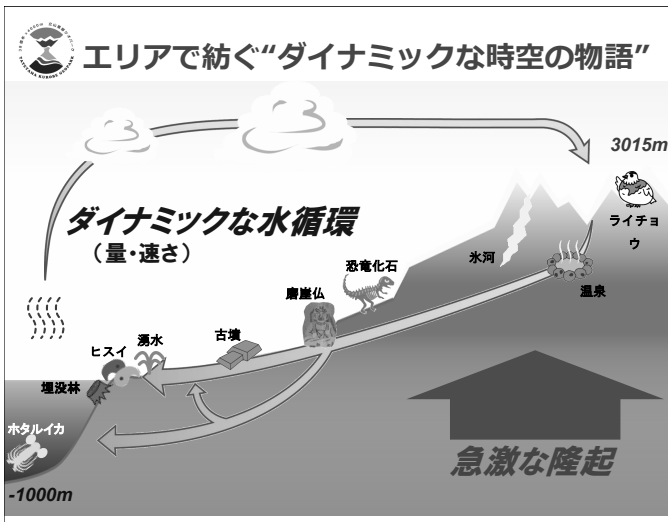
2,500万年前～

④山脈の隆起

300万年前～

列島誕生を物語る **磨崖仏**

マグマが湧かす **峡谷の温泉**



①高低差4,000mの水循環 山岳～扇状地

扇状地と古代の暮らし **竹内天神堂古墳**

多雪がもたらす水河群 **三ノ窓水河**

湧水が育む **沢スギ**

②高低差4,000mの水循環 富山湾

地下水が守る **魚津埋没林**

深海からの贈り物 **ホタルイカ**

画像引用: <https://blog.sipfuso.com/entry/hotaruka-luciferin>

持続可能な豊かな社会を目指す

『宝ものを未来につなげる』

- 宝ものの価値を学び、“ふるさと愛”を育みます。
- 宝ものを守り活かす活動を、次世代に引き継ぎます。

『宝ものを広く共有する』

- 富山の価値を地域で共有し、全国・世界に発信します。

『地域を元気にする』

- ジオパークは、宝ものを活かして地域を発展させる活動です。

『災害に強い地域をめざす』

- 自然をよく知ること、これからの防災・減災に役立ちます。

ホタルイカ

埋没林

ヒスイ

湧水

古墳

磨崖仏

恐竜化石

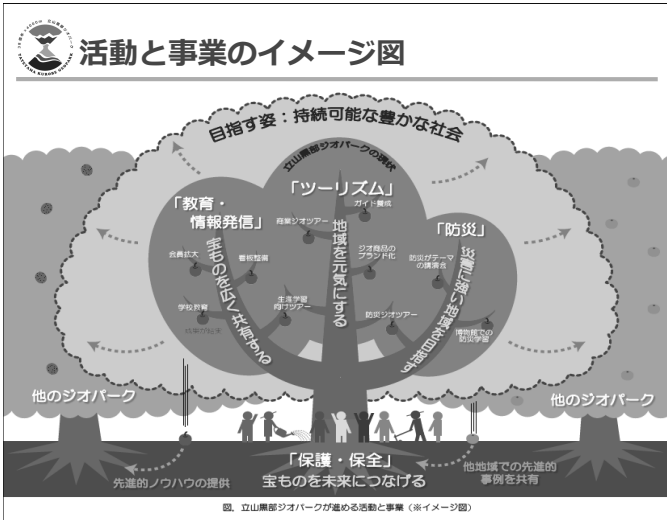
水河

温泉

ライチョウ

“富山の宝もの”

○高低差4,000mの大地と、それが育んだ動植物や文化・歴史



宝ものを広く共有する 「教育」

大地・生き物・ヒトの繋がりを知りながら、地域の宝ものの価値を学び“ふるさと愛”を育む

■身近な“なぜ”から地域を知る機会の提供

- ・学校教育や生涯学習の場において、地域での学習機会を提供
- ⇒教育活動との連携拡充・プログラムの提供

官民学が連携したジオパーク探検隊

ジオパーク副読本(滑川市)

宝ものを広く共有する 「情報発信」

■身近な“なぜ”から地域を知る機会の提供

ジオガイドや学芸員が魅力を伝える

ジオパーク散歩
「立山橋」が橋名を譲ったのはなぜ？

ジオパーク散歩
宇奈月谷と不動滝公園を巡る

立山カルデラ砂防博物館
「フィールドウォッチング」

地域の人と地域の話題で
「uozu」でジオカフェ
食事とジオを楽しむ

立山自然保護センター連携事業
「講演会・観察会」

地域を元気にする 「ジオツーリズム」

■ジオツーリズムの活用促進

- ・既存観光や地域産品へ新たな価値を付与
- ・新たな観光資源を創出し、活用する
- ・身近な“なぜ”を楽しめるガイド付きツアーを展開

4,000mの高低差が育む海の幸

チャレンジライド新川

池ノ谷氷河(2018年に氷河として認定)

災害に強い地域をめざす 「防災・減災」

■ジオパークと防災

ツアー等の楽しみを通して地域の災害特性を知り
災害に強い地域をつくる

- ・地域の防災活動との連携拡充
⇒公民館への出前講座や防災をテーマにした街歩き
- ・拠点施設を活用した防災学習

常願寺川ジオツアー(称名滝と砂防えん堤)

立山カルデラ砂防体験学習

宝ものを未来につなげる 「保護・保全」

未来を担う子どもたち 体験を通して学ぶ・考える

上市町 ふるさと学習

滑川市 なめりかわのジオパーク！

くろべ水の少年団

宝物子どもたちの未来につなぐ活動
学校教育を通じてふるさと愛を育む

富山県立高校 防災教育
富山で起きる災害と
それに対する対応

黒部市
小学生黒部峡谷
ジオパーク体験学習



目的をひとりで

大地と生態系、文化がつながっていることに気付いてふるさと愛を育て、宝ものを「孫の孫の代」まで残す



ジオパークの面白さ

大地と人のつながりが分かる



生活の中の大地と人のつながり



ジオパークの面白さ

景色の見え方が変わる



美しい立山連峰



立山連峰をつくる岩石



産総研 3Dシームレス地質図より引用

